

■ゾンビ丸キャラクター設定&入稿ボイス

【名前】 ゾンビ丸(15歳くらい?)※男女応募可



【設定】 見た目は少年だが、ゾンビになる前は凄腕の忍者(だったらしい)。ゾンビ化の影響で忍者としての術と前世での記憶を失っている。ミデアに異世界へと召喚され魔王を倒す旅に出る羽目になる。言葉はほぼ通じない。

【能力】 噛み付いた敵をゾンビ化。覚醒すると忍術を使う。

【イメージ】『ナイトメア・ビフォア・クリスマス』のジャック。
『究極超人あ〜る』のR田中一郎。
『鬼滅の刃』の禰豆子の男性版？

<入稿ボイス①: サンプルボイスセリフ(各セリフの間に2秒以上間を開けて下さい)>

「うがあ!!!」

「ぐぎぎぎ…」

「屍炎刃(しえんじん)!!!」

※腐敗したチャクラで火をまとった斬撃

「瘴哭千斬(しょうこくせんざん)!!!」

※毒気と共に無数の手裏剣や鎖が飛び交う乱れ打ち

「朽血散華(くちちさんげ)!!!」

※自らの血を撒き、周囲を蝕む広範囲呪術

~~~~~

＜入稿ボイス②:投票特典ボイス＞  
「拙者は——ゾンビ丸と呼ばれている。  
……本当の名は思い出せぬ」

※キャラクターセリフ終わりから3秒間を開けた後に、自分のお礼のメッセージなどをつけることも可能。

＜入稿ボイス③:応援メダル購入特典ボイス(1枚購入者向け)＞  
「ミデア殿の恩義、決して忘れはしない。  
必ずや、元の世界と体を取り戻す術を——  
この腐りかけの命にかけて、探し当ててみせようぞ……！」

※キャラクターセリフ終わりから3秒間を開けた後に、自分のお礼のメッセージなどをつけることも可能。

＜入稿ボイス④:応援メダル購入特典ボイス(3枚購入者向け)＞  
「一度失いし命なれば……もはや怖れるものなどござらぬ。  
ミデア殿の御身、すべてを捧げてお守り致す！」

※キャラクターセリフ終わりから3秒間を開けた後に、自分のお礼のメッセージなどをつけることも可能。

【名前】 ミデア(14歳)



【設定】

アスティリア王国の王妃。少々ポンコツだけどポジティブで責任感がある女の子。涙もろい。  
胸に王家の「祝福」の証である紋章を持っているが  
恥ずかしくてあまり他人には見せられない。  
王国の言い伝えに従い勇者召喚の儀式を行った結果、  
なぜかゾンビの忍者(ゾンビ丸)を召喚してしまう。

【能力】 祝福の力で別世界の生物を召喚。聖なる力、低レベルの治癒魔法。

【イメージ】『このすば』のアクアや『慎重勇者』のリスタルテの様なダメ女神キャラ。

<入稿ボイス①: サンプルボイスセリフ(各セリフの間に2秒以上間を開けて下さい)>

「わたくしは、こんな馬鹿みたいな予言を代々語り継いできた  
カプール王家に心の底から落胆していた」

「この光景を生涯忘れることはないだろう。  
世界の命運を託すべく、藁をもすがר思いで召喚した彼の姿を。  
それは…勇者と呼ぶにはあまりにもおぞましかった」

「お父様、私にもできることがあるはずです！」

「……まさか、私に祝福が？」

「えっ、覚えてるここ。  
よく2人で遊んでマゼラン様に怒られたよね……」

～～～

＜入稿ボイス②:投票特典ボイス＞

▼胸の紋章をまじまじと見られて  
「もう！そんなにジロジロ見ないで！恥ずかしいですっ」

※キャラクターセリフ終わりから3秒間を開けた後に、自分のお礼のメッセージなどをつけることも可能。

＜入稿ボイス③:応援メダル購入特典ボイス(1枚購入者向け)＞

▼寝ているアイザックに  
「これでも一応、お兄様には感謝してるんですよ！  
なかなか面と向かっては言えませんが……」

※キャラクターセリフ終わりから3秒間を開けた後に、自分のお礼のメッセージなどをつけることも可能。

＜入稿ボイス④:応援メダル購入特典ボイス(3枚購入者向け)＞

※エルメスと一緒に風呂に入って  
「エルメスは、その、すごく発育が良いんですね……  
一緒に風呂に入ると、なんだか、恥ずかしいです」

※キャラクターセリフ終わりから3秒間を開けた後に、自分のお礼のメッセージなどをつけることも可能。

【名前】 チェルシー(10歳?)



【設定】

大魔法使いの家系の少女らしい。謎が多い。  
見た目は子供ながら大人びた口調でドライなツッコミをする。  
最初はゾンビ丸に強い敵意を抱くが、そのゾンビ丸を手名付けている(?)ミデアに興味を持ち、パーティーへの参加を決意する。  
普段はあまり強力な魔法は使えない。

【能力】 魔法による攻撃。

【イメージ】『みなみけ』の三女・千秋、『わたモテ』の黒木智子。

<入稿ボイス①: サンプルボイスセリフ(各セリフの間に2秒以上間を開けて下さい)>

「! ? .....あの醜い生き物は!!!」

「お父様とお母様の仇、許さん!!!」

「魔術師を探しておるのじゃろう?  
仲間になってやる」

※アイザックに  
「鼻の下が伸びているぞ、すけべ男。」

～～～

<入稿ボイス②:投票特典ボイス>

▼ミデアに抱きしめられながら  
「ミデアの側にいると落ち着くのじゃ・・・  
王女の聖なる加護のせい、ってことにしておいてくれ」

※キャラクターセリフ終わりから3秒間を開けた後に、自分のお礼のメッセージなどをつけることも可能。

<入稿ボイス③:応援メダル購入特典ボイス(1枚購入者向け)>

▼アイザックにおぶられながら  
「やめろ！恥ずかしいではないか！  
……でもそうじゃ、そういえば昔、兄が欲しかったんじゃった」

※キャラクターセリフ終わりから3秒間を開けた後に、自分のお礼のメッセージなどをつけることも可能。

<入稿ボイス④:応援メダル購入特典ボイス(3枚購入者向け)>

「ふふ、子供っぽいと思ったか？  
だったら試してみるといい。  
こっちはあんたのおばあちゃんでもおかしくない歳なんじゃ」

※キャラクターセリフ終わりから3秒間を開けた後に、自分のお礼のメッセージなどをつけることも可能。

【名前】 アイザック(17歳)



【設定】

王族の暮らしに馴染めず出奔し、盗賊として暮らしていた元・皇太子。盗賊としての通称は「ザック」。

あまり身長は高くないが体は引き締まっている。

自分を産んだことがキッカケで当時アスティリアの女王だったマンサが亡くなり、しかも自分には「祝福」の紋章がなかったことで負い目を感じている。

儲け話が大好き。クズだがいざというときには頼りになる？

女好きで常にエルメスにちょっかいを出している模様。

【能力】 ナイフによる格闘、パチンコorブーメランによる遠距離攻撃。

罠を仕掛けるのがうまい。

お宝に対する鼻が効くが、つい欲を出しすぎて大抵失敗する。

【イメージ】一番イメージに近いのは『うる星やつら』の諸星あたる。

<入稿ボイス①: サンプルボイスセリフ(各セリフの間に2秒以上間を開けて下さい)>

「親父自慢の王宮が、ひでえ有様だな……」

「おっと、あんまりのんびり話してる時間はねーぞ」

「(慌てて)ばか！死ににいくようなもんだぞ！」

「いや待て！俺だ俺だ！アイザックだ！」

「俺の約束、ガキの頃遊んで怒られた洞窟、  
一番強えやつに渡されたトロフィー、  
そして光る人面瘡・・・  
全部用意されてたってわけか。  
ちくしょう、あのクソ親父。  
ちょっとカッケーじゃねーか」

～～～

<入稿ボイス②:投票特典ボイス>

「“王子”って呼ばれるたび、ちょっと胸が痛くなるんだよ。  
オレには.....王族の資格なんてねえからさ」

※キャラクターセリフ終わりから3秒間を開けた後に、自分のお礼のメッセージなどをつけることも可能。

<入稿ボイス③:応援メダル購入特典ボイス(1枚購入者向け)>

「んー？どうしたどうした、そんな顔して。  
しょうがねーなあ.....今日は特別に頭撫でてやるよ」

※キャラクターセリフ終わりから3秒間を開けた後に、自分のお礼のメッセージなどをつけることも可能。

<入稿ボイス④:応援メダル購入特典ボイス(3枚購入者向け)>

「泣いても良いんだぞ？俺の胸の中で。  
お兄ちゃんっていうのはそのためにいるんだから」

※キャラクターセリフ終わりから3秒間を開けた後に、自分のお礼のメッセージなどをつけることも可能。

【名前】 エルメス(18歳)



【設定】

パーティー最年長の女戦士。グラマラスだが無骨で不器用。  
真面目すぎる天然。極めて運が悪く、受難体質。  
王国の騎士学校を首席で卒業した才媛だが、  
実戦では行く戦場を間違えて戦闘に参加できなかったり、  
新しく買った防具の結び方が分からなかったり何処か抜けている。  
胸が大きすぎて防具が選べなかったり、  
両手武器を使えないのが悩み。  
ミデア王女の幼馴染で彼女からは姉のように慕われている。

【能力】 剣による近距離攻撃。

【イメージ】『ガンダム』のブライトのような苦労人の年長者ポジション &  
お色気キャラ。『監獄学園』の芽衣子。

<入稿ボイス①: サンプルボイスセリフ(各セリフの間に2秒以上間を開けて下さい)>

「ミデア様、やはりここでしたか」

「…ああ、家出クズ王子のアイザックか」

「はい、ディアス王より特命を受けておりまして、  
王宮にもしもの時はこれを持ってここへ来るようにと」

「盗賊…元王家ともあろう者が」

～～～

<入稿ボイス②:投票特典ボイス>

「新しい胸当て、また入りませんでした.....

.....わ、笑わないでくださいっ！ 真剣に悩んでいるんですからっ！」

※キャラクターセリフ終わりから3秒間を開けた後に、自分のお礼のメッセージなどをつけることも可能。

<入稿ボイス③:応援メダル購入特典ボイス(1枚購入者向け)>

「わ、わたしだって、たまには.....

その、女らしく扱ってほしい時も、あるのだ。

.....な、なんだ、その目は！！」

※キャラクターセリフ終わりから3秒間を開けた後に、自分のお礼のメッセージなどをつけることも可能。

<入稿ボイス④:応援メダル購入特典ボイス(3枚購入者向け)>

「み、ミデア様にお褒めいただけると、

大変光栄ですし、その.....

胸が熱くなって、ドキドキいたします」

※キャラクターセリフ終わりから3秒間を開けた後に、自分のお礼のメッセージなどをつけることも可能。